

各機関の取組事例

・ 富山河川国道事務所	P1～17
・ 立山砂防事務所	P18
・ 富山県河川課	P19～23
・ 富山県砂防課	P24
・ 富山県森林政策課	P25
・ 岐阜県河川課	P26～27
・ 岐阜県砂防課	P28
・ 岐阜県森林整備課、治山課	P29
・ 富山森林管理署、飛騨森林管理署	P30
・ 富山・岐阜水源林整備事務所	P31～32
・ 富山市	P33～36
・ 高岡市	P37
・ 立山町	P38
・ 砺波市	P39～42
・ 小矢部市	P43
・ 白川村	P44
・ 北陸電力株式会社	P45

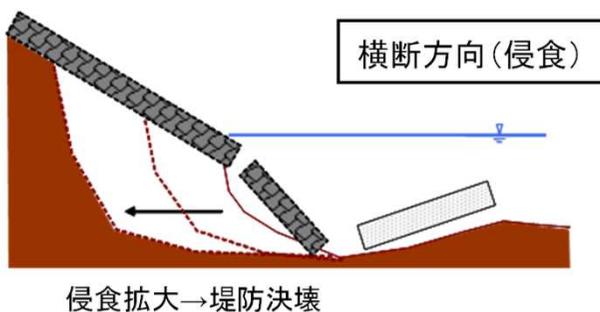
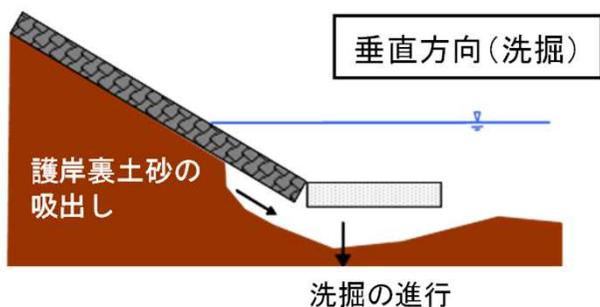
(様式: 取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山河川国道事務所
メニュー名	急流河川対策(護岸整備)		
事業・施策の名称			
実施場所	常願寺川		

【対策概要】

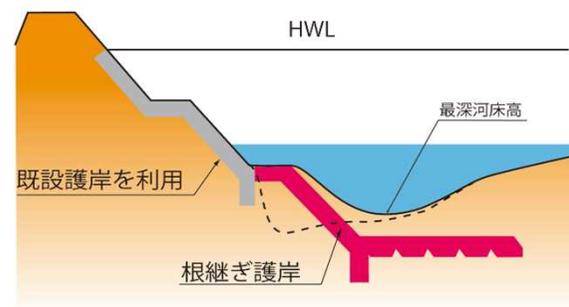
急流河川特有の流水の強大なエネルギーに対し、河岸の洗掘・浸食に対する安全度が低い箇所において侵食対策を実施し、治水安全度の向上を図ります。

急流河川の被災メカニズム



急流河川対策

急流河川特有の洪水のエネルギーに対し堤防の安全性を確保する



急流河川対策(根継ぎ護岸)

(様式:取組事例)

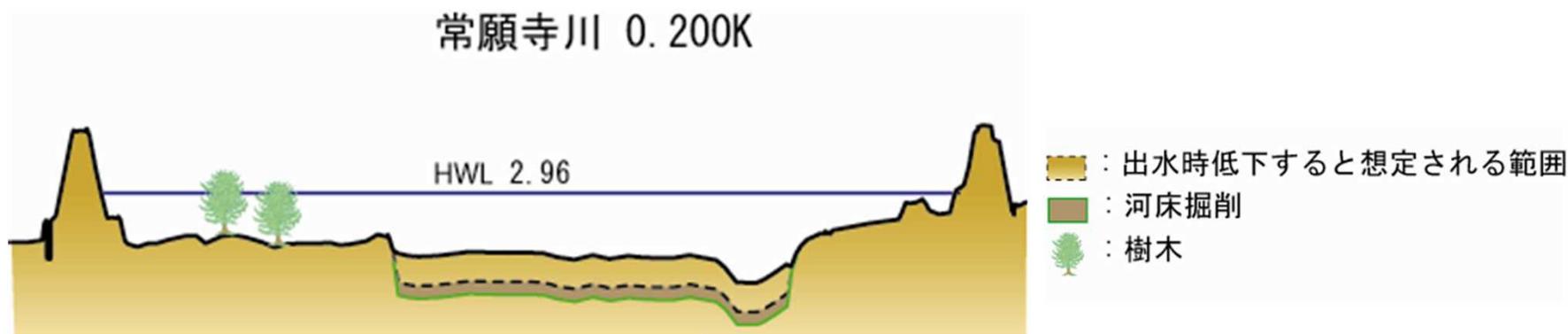
区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山河川国道事務所
メニュー名	堤防整備・河道掘削		
事業・施策の名称			
実施場所	常願寺川		

【対策概要】

計画規模の洪水(瓶岩地点:4,600 m^3/s)が越流しないよう河道整備を進めます。河口部については、洪水時の河床低下量等の土砂動態について十分調査した上で築堤、河道掘削及び河道内樹木群の伐採等を実施します。

堤防の高さや幅が不足している箇所においては、堤防整備を実施します。

河道掘削イメージ



計画横断形状イメージ図

※河道掘削は洪水時の河床低下量を調査した上で実施する

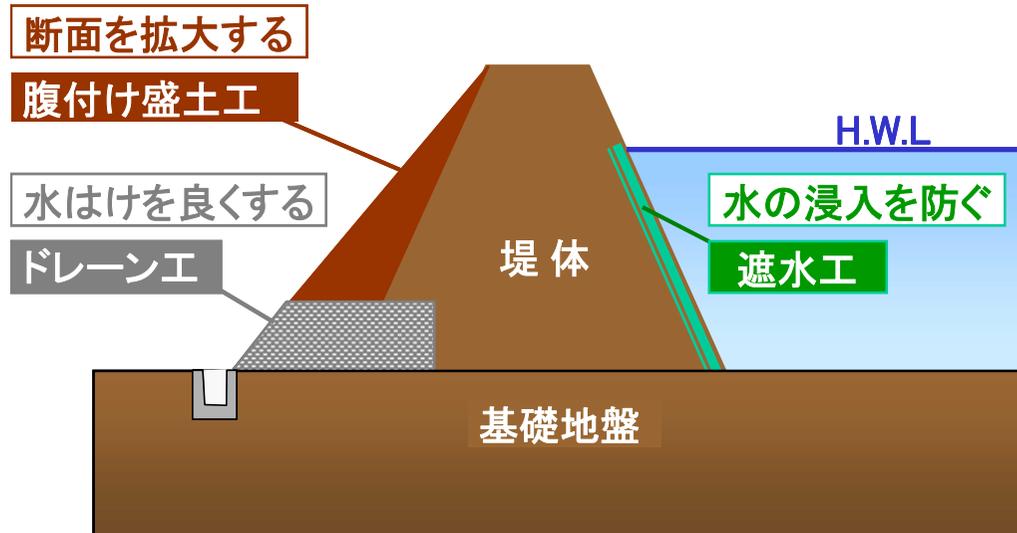
(様式:取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山河川国道事務所
メニュー名	堤防強化(浸透対策)		
事業・施策の名称			
実施場所	常願寺川		

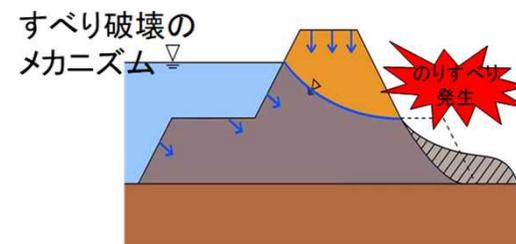
【対策概要】

築堤履歴や浸透に対する被災実績等を調査し、浸透に対して安全性が確保されない堤防においては、堤防の質的整備として浸透対策を実施します。

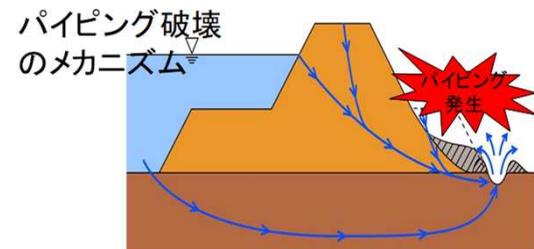
浸透対策イメージ



浸透破壊のメカニズム



降雨や河川水が堤防に浸透することにより、破壊が生じる



堤体や基礎地盤に水みちが生じ、のり尻の土砂が流出することで破壊が生じる

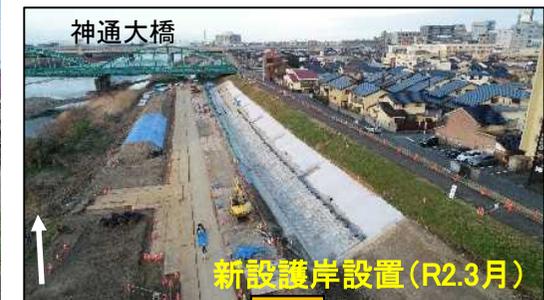
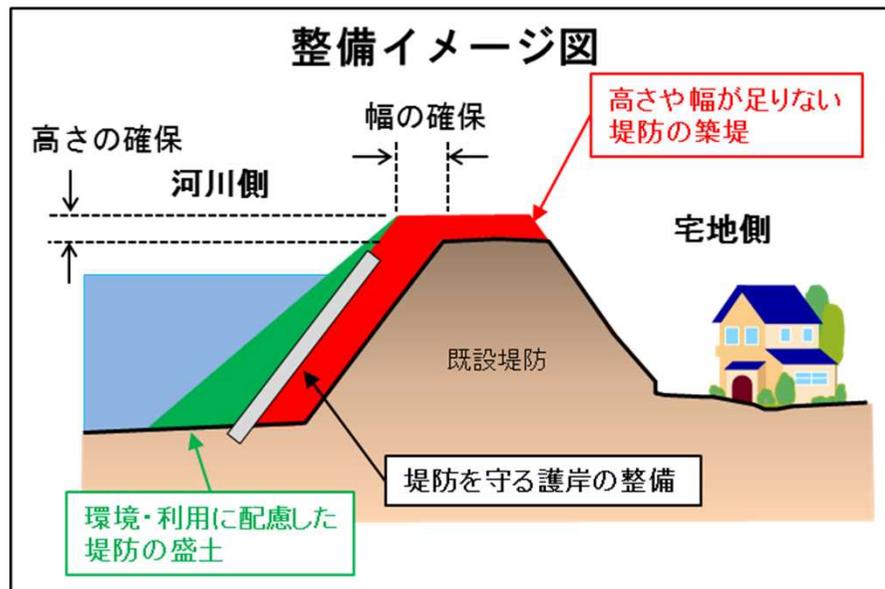
※対策実施にあたっては、詳細な調査・解析を行い必要な対策工法を検討する

(様式:取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山河川国道事務所
メニュー名	堤防整備		
事業・施策の名称			
実施場所	神通川		

【対策概要】

- 神通川は県都富山市を貫流する河川であり、特に右岸側の背後地には富山市市街地・公共施設・主要交通網を抱える重要な地域となっています。
- 当該地区は、堤防の高さや幅が不足していることに加え、急流河川であり、侵食により、堤防が決壊に至る危険性があります。
- このため、富山市街地を洪水氾濫から守るため、堤防のかさ上げ、拡幅等、河川改修を重点的に行います。



(様式:取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山河川国道事務所
メニュー名	堤防整備・河道掘削		
事業・施策の名称			
実施場所	神通川		

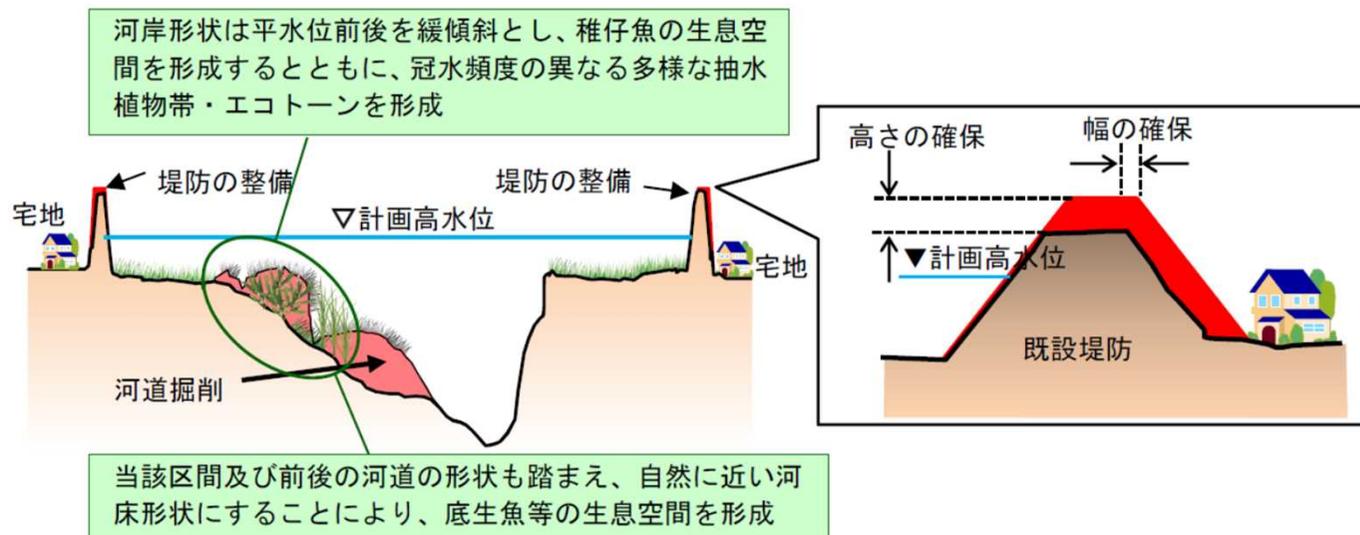
【対策概要】

戦後最大規模の洪水(H16.10洪水)と同規模の洪水に対して洪水氾濫による浸水被害の防止または軽減を図るため、流下能力の向上を図ります。

堤防の断面が不足する区間においては、堤防の嵩上げ・拡幅を実施します。

堤防の整備を実施しても河道整備目標流量を計画高水位(H.W.L.)以下で安全に流下させることのできない区間においては、河道掘削により必要な河道断面の確保を図ります。

堤防整備・河道掘削イメージ



堤防の整備・河道掘削イメージ図

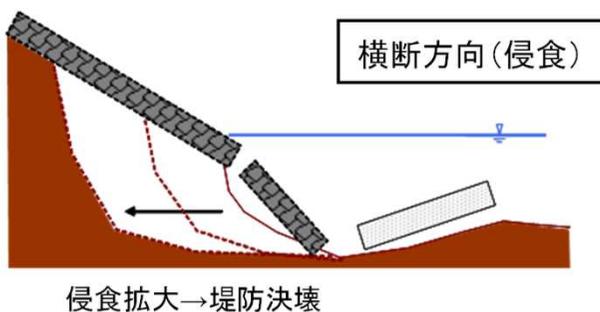
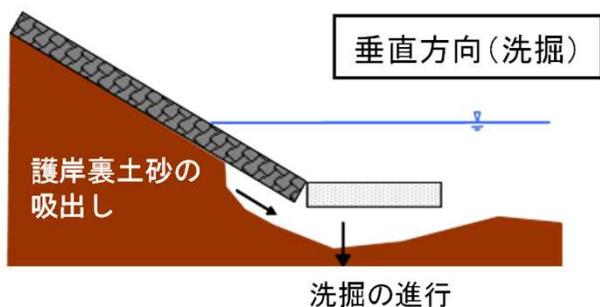
(様式:取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山河川国道事務所
メニュー名	急流河川対策(護岸整備)		
事業・施策の名称			
実施場所	神通川		

【対策概要】

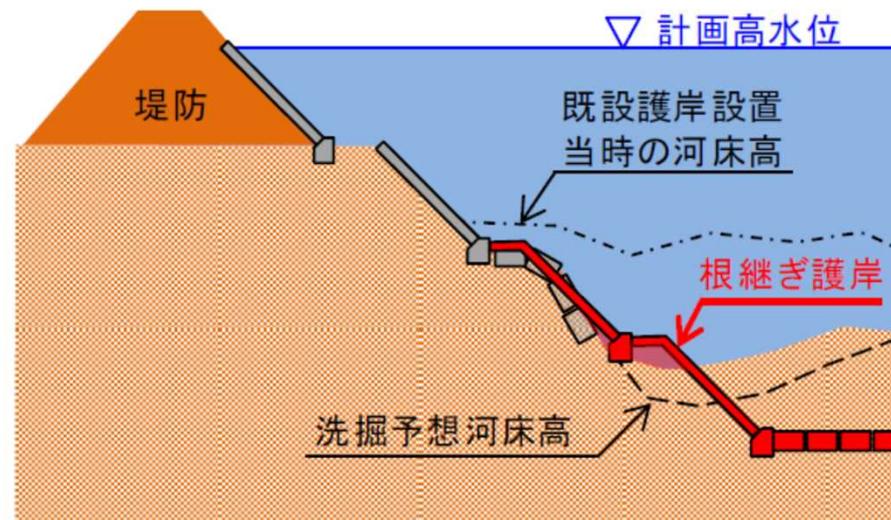
急流河川特有の流水の強大なエネルギーに対し、河岸の洗掘・浸食に対する安全度が低い箇所において侵食対策を実施し、治水安全度の向上を図ります。

急流河川の被災メカニズム



急流河川対策

急流河川特有の洪水のエネルギーに対し堤防の安全性を確保する



急流河川対策(根継ぎ護岸イメージ)

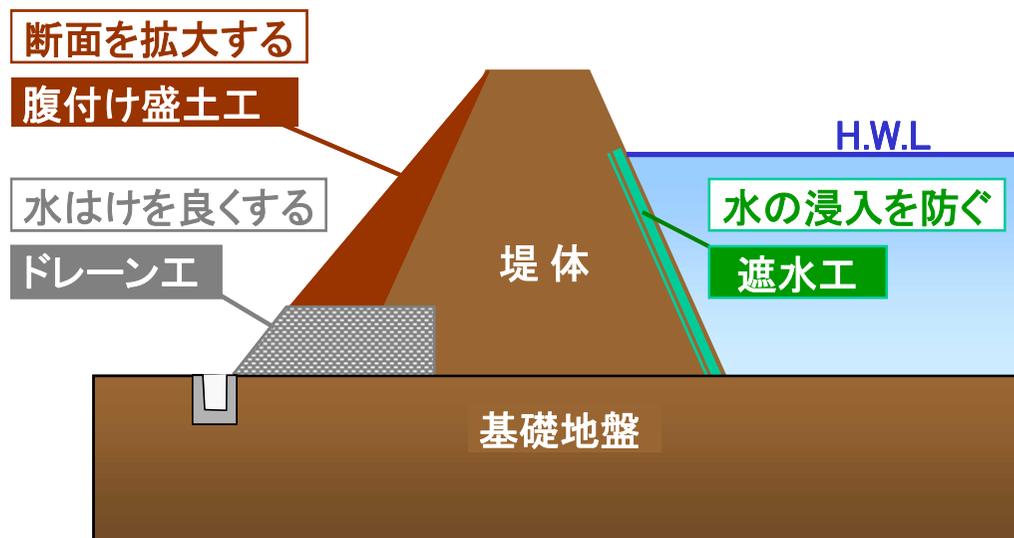
(様式:取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山河川国道事務所
メニュー名	堤防強化(浸透対策)		
事業・施策の名称			
実施場所	神通川		

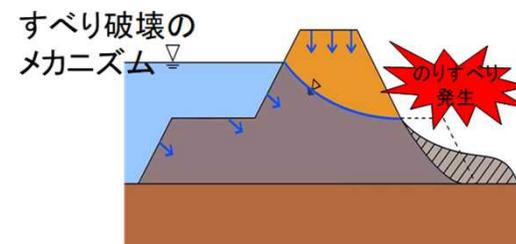
【対策概要】

築堤履歴や浸透に対する被災実績等を調査し、浸透に対して安全性が確保されない堤防においては、堤防の質的整備として浸透対策を実施します。

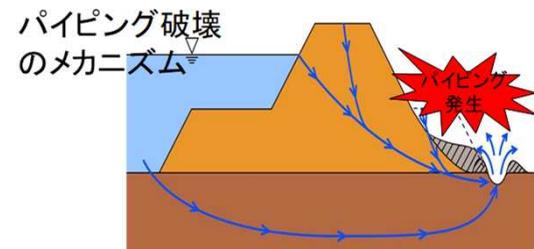
浸透対策のイメージ



浸透破壊のメカニズム



降雨や河川水が堤防に浸透することにより、破壊が生じる



堤体や基礎地盤に水みちが生じ、のり尻の土砂が流出することで破壊が生じる

※対策実施にあたっては、詳細な調査・解析を行い必要な対策工法を検討する

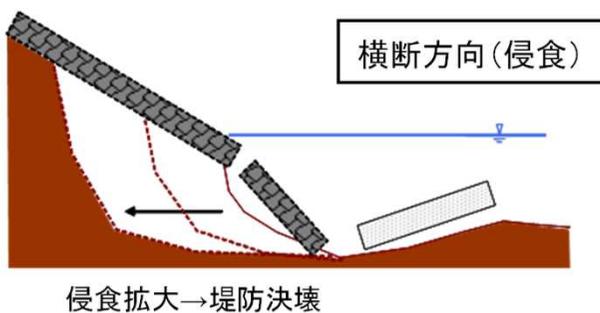
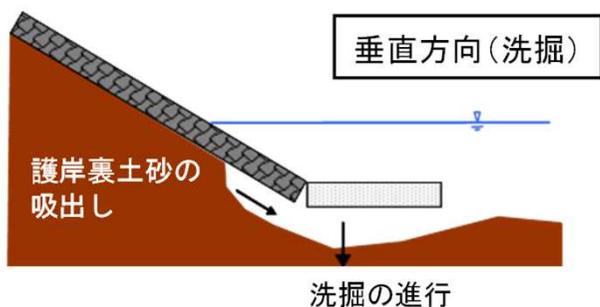
(様式:取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山河川国道事務所
メニュー名	急流河川対策(護岸整備)		
事業・施策の名称			
実施場所	庄川		

【対策概要】

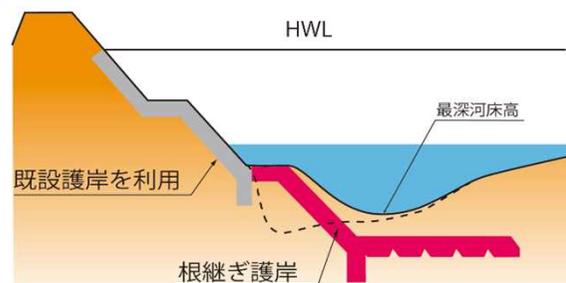
急流河川特有の流水の強大なエネルギーに対し、河岸の洗掘・浸食に対する安全度が低い箇所において侵食対策を実施し、治水安全度の向上を図ります。

急流河川の被災メカニズム



急流河川対策

急流河川特有の洪水のエネルギーに対し堤防の安全性を確保する



急流河川対策(根継ぎ護岸)

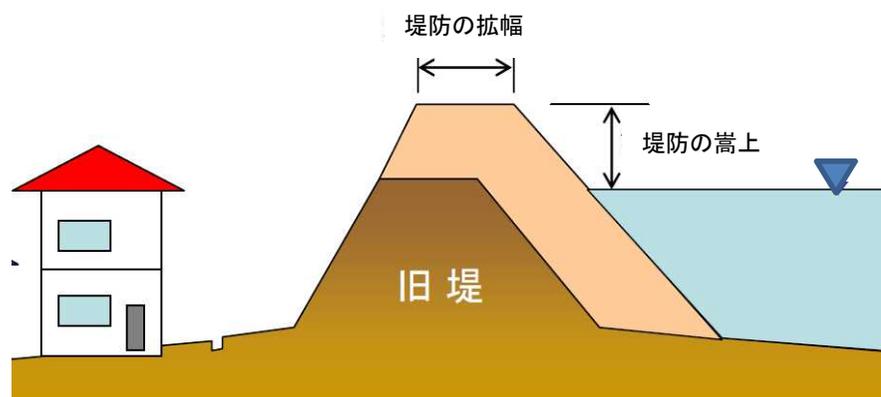
(様式:取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山河川国道事務所 利賀ダム工事事務所
メニュー名	堤防整備・利賀ダム整備・合流点処理		
事業・施策の名称			
実施場所	庄川		

【対策概要】

戦後最大の洪水(H16.10洪水)を安全に流下させるため、利賀ダム整備により全川にわたって洪水時の水位を低下させるとともに、堤防の高さや幅が不足している箇所における堤防整備、堤防整備に伴う河口部橋梁の架け替え、治水上のネックとなっている和田川合流点処理等を行います。

堤防整備イメージ



堤防整備イメージ

利賀ダムの整備

①洪水調節

ダム地点の計画高水流量770m³/sのうち、500m³/sの洪水調節を行う。

②流水の正常な機能の維持

庄川本川及び支川利賀川の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持と増進をはかる。

③工業用水道

富山県に対し、庄地点において、工業用水として新たに1日最大8,640m³/日(0.1m³/s)の取水を可能ならしめる。



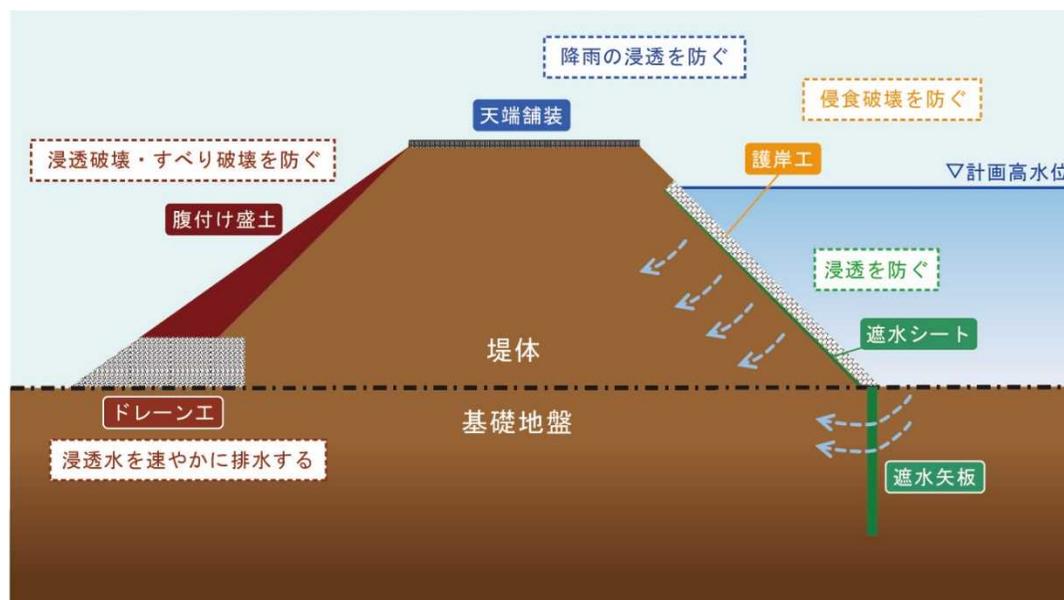
(様式: 取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山河川国道事務所
メニュー名	堤防強化(浸透対策)		
事業・施策の名称			
実施場所	小矢部川		

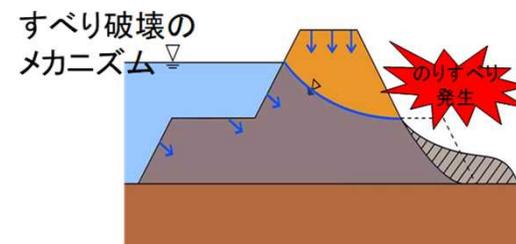
【対策概要】

築堤履歴や浸透に対する被災実績等を調査し、浸透に対して安全性が確保されない堤防においては、堤防の質的整備として浸透対策を実施します。

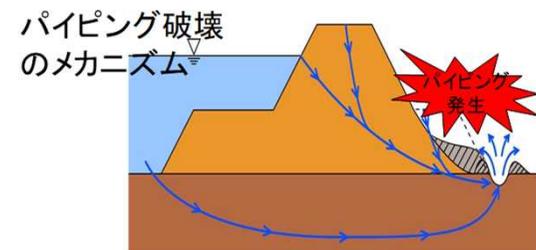
浸透対策イメージ



浸透破壊のメカニズム



降雨や河川水が堤防に浸透することにより、破壊が生じる



堤体や基礎地盤に水みちが生じ、のり尻の土砂が流出することで破壊が生じる

※対策実施にあたっては、詳細な調査・解析を行い必要な対策工法を検討する

(様式:取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山河川国道事務所
メニュー名	堤防整備・河道掘削・合流点処理		
事業・施策の名称			
実施場所	小矢部川(渋江川含む)		

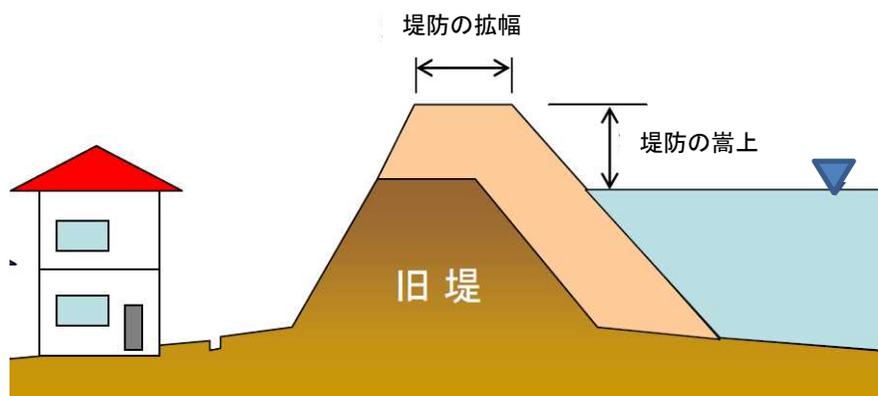
【対策概要】

小矢部川下流部において戦後最大流量の洪水(H10.9洪水)と同規模の洪水に対して洪水氾濫による浸水被害の防止または軽減を図るため、堤防の高さや幅が不足している箇所については、堤防の整備を実施し、流下能力の向上を図ります。

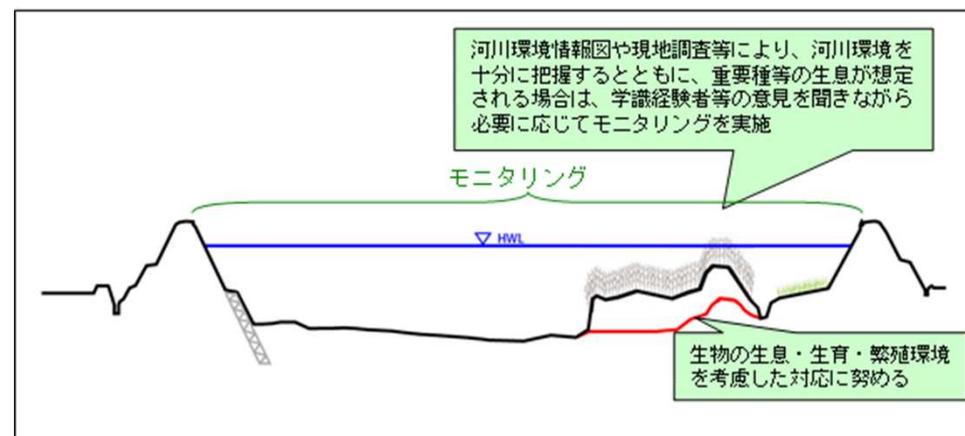
また、堤防の整備を実施しても、流下能力が不足する箇所においては、河道掘削を実施し、流下能力の向上を図ります。

小矢部川と支川の合流点では、支川堤防の高さが不足している箇所があり、洪水時には本川の水が逆流して氾濫が生じる場合があるため、堤防の整備や樋門等の整備による合流点処理を実施します。

堤防整備・河道掘削イメージ



堤防整備イメージ



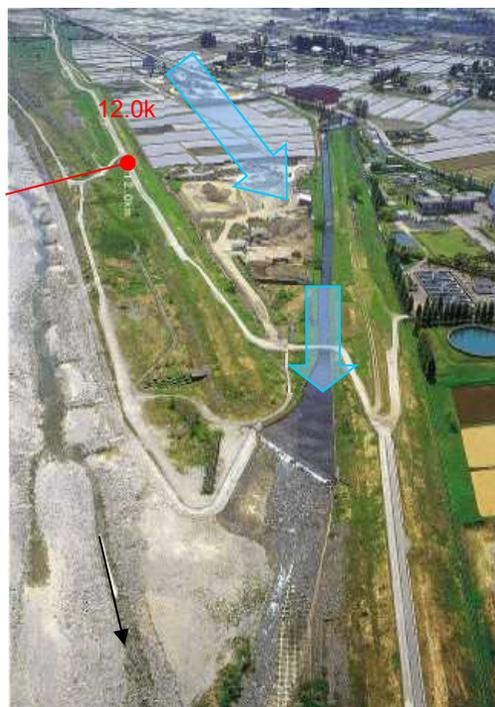
河道掘削環境配慮イメージ図

(様式:取組事例)

区 分	被害対象を減少させるための対策	実施機関	富山河川国道事務所
メニュー名	霞堤の保全		
事業・施策の名称	霞堤の機能維持(減災への取組)		
実施場所	常願寺川・神通川・庄川・小矢部川		

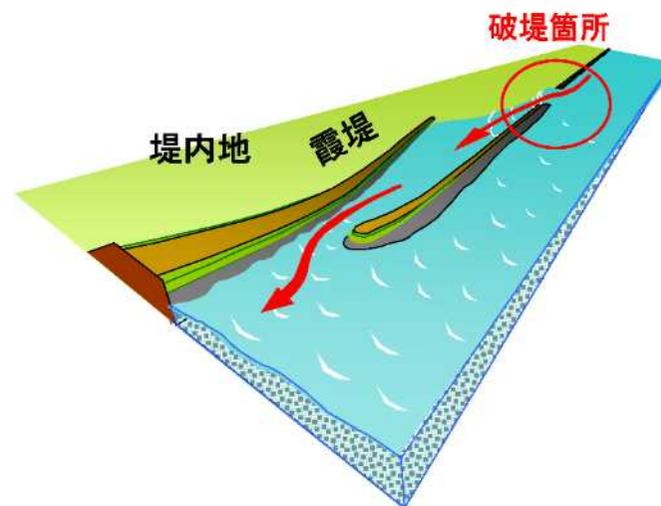
【対策概要】

現存する霞堤について、上流で氾濫した水を開口部から速やかに川へ戻し、被害の拡大を防ぐ等の治水上の機能があるため、適切な維持、保全を図ります。また、霞堤の機能維持を考慮した開口部周辺の土地利用等についても関係事業者や関係機関とも連絡、調整し、霞堤を活かした水害に強い沿川地域づくりを目指します。



← 破堤した場合の
氾濫水の流れ

常願寺川(L12k付近)の霞堤



【霞堤の効果】
上流で氾濫した水を開口部から川へ戻し、被害の拡大を防止

(様式:取組事例)

区 分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山河川国道事務所
メニュー名	浸水被害軽減対策		
事業・施策の名称	排水ポンプ車、照明車等による災害支援		
実施場所・対象者	富山河川事務所管内		

【対策概要】

災害時に緊急復旧活動や水防活動を等を円滑に行うため、浸水被害が発生する恐れがある場合及び自治体より要請があれば排水ポンプ車等を出動させ、排水活動等を支援します。

富山河川国道事務所では、福岡防災ステーション(小矢部川)と三郷出張所(常願寺川)に合計3台の排水ポンプ車を所有しています。

排水活動支援事例

【H30.7出水】

神通川水系井田川の水位上昇に伴い、逆流防止のため、礮川樋門の全閉操作を実施し、内水氾濫を防ぐため、富山市の要請を受け、排水ポンプ車および照明車を出動させ、被害拡大を防止

河 川	支援内容	所在地	稼働開始	稼働終了	稼働時間
井田川 礮川	排水ポンプ車 Q=30m ³ /min 1台 照明車 1台	富山市 婦中町 町袋	7月5日 17:02	7月6日 02:30	9:28



※左側は富山市所有の排水ポンプ車

礮川樋門 (井田川右岸7.0k)

(様式: 取組事例)

区 分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山河川国道事務所
メニュー名	災害情報普及支援		
事業・施策の名称	浸水想定区域図、浸水エリア情報等に対する支援		
実施場所・対象者	富山河川事務所管内		

【対策概要】

平成17年に洪水ハザードマップの普及支援のために河川関係事務所に設置した「災害情報普及支援室」を自衛水防の窓口として、事業者等の自衛水防の取組を積極的に支援します。

1. 取組内容

- ・河川等のハザードマップの作成、洪水予報等の情報伝達に関する市町村への技術支援
- ・避難確保計画又は浸水防止計画の作成を行う施設の所有者又は管理者への技術支援
- ・災害情報協議会の設置・運営
- ・その他、災害情報を普及するために必要な支援

2. よくある問い合わせ内容

- ・自治体や事業所等の所有者又は管理者より、浸水想定図の考え方や見方について
- ・氾濫範囲や浸水深について 等

3. 自衛水防に役立つ情報WEBサイト

<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jieisuibou/index.html>



(様式: 取組事例)

区分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山河川国道事務所
メニュー名	マイ・タイムラインの作成及び普及		
事業・施策の名称	マイ・タイムラインの普及		
実施場所・対象者	富山河川事務所管内		

【対策概要】

集中豪雨等の発生開始後、河川の水位が上昇してから、ご自身がとる防災行動を時系列で整理し、取りまとめる「マイ・タイムライン」を多くの県民に知ってもらうことを目的とした、『みんなでタイムラインプロジェクト・とやま』の取り組みを、令和2年4月より国土交通省富山河川国道事務所、黒部河川事務所、北陸技術事務所の3事務所合同で取り組んでいます。



逃げキッド(マイタイムライン検討ツール)



みんなでタイムラインプロジェクト とやま

(様式: 取組事例)

区 分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山河川国道事務所
メニュー名	水防災教育(出前講座の活用)		
事業・施策の名称	出前講座等の活用		
実施場所・対象者	管内の小学校		

【対策概要】

自然災害から命を守るためには、一人一人が災害時において適切な避難行動をとる能力を養う必要があることから、学校における防災教育の充実を図り、特に「命を守る」という観点に留意し、子供たちに正確な理解を進める。(実施日: R3.10.22 水橋中部小学校、他リモート参加4校(水橋西部小学校、水橋東部小学校、上条小学校、三郷小学校)、資料提供: R3.12.02 高野小学校)



上図 資料を用いて説明する様子(富山河川国道事務所職員(左)、富山県職員(中)、リモート参加の他校からの感想(右))



作成したスライドの例



教員のニーズや児童の学習状況に合わせ、授業の説明用スライドを作成・提供しました



(様式:取組事例)

区分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山河川国道事務所
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	水位計・監視カメラの活用		
実施場所・対象者	富山河川事務所管内		

【対策概要】

富山河川国道事務所ホームページにおいて、住民等への防災情報の提供として河川水位・洪水予報・ライブ映像等を提供しています。

また、「河川氾濫のおそれがある情報(氾濫危険水位を超過)」や「河川氾濫が発生した情報」を携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」を活用し洪水情報のプッシュ型配信を実施しています。

● 防災ネット富山

国、富山県、県内各市町村がそれぞれの保有する光ケーブルで繋がることにより、全県域で雨量・水位データ、国道や河川などのカメラ映像を共有することが可能となりました。なお、一般家庭でもこれらのデータと同じものをインターネットで見ることが出来ます。

この防災の情報網「防災ネット富山」により、早い段階から災害に備えることが可能になっています。

防災ネット富山

<http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/bousainet/palette/>



● XRAIN配信中

平成20年7月28日の富山・石川両県において前線豪雨により時間雨量100mmを超える局地的な豪雨が発生し大規模な被害を被ったことを契機に、局地的に発生する豪雨を監視することにより適切な水防活動や河川管理を行うために富山・石川両県に設置したXRAIN(高精度・高分解能でほぼリアルタイムレーダ雨量情報)による雨量観測情報を提供しています。

インターネット

<http://www.river.go.jp/x/xmn0107010.php>

なお、富山河川国道事務所ホームページからもアクセスできますのでご利用下さい。



● ケーブルテレビ・ラジオ・地上デジタル放送との連携

国と富山県ケーブルテレビ協議会は、「防災ネット富山」のデータを利用し、ケーブルテレビで災害情報番組を放映できる体制となっており、インターネット環境がない家庭でも、防災情報を視聴できることに加え、ラジオ放送に關して、富山シティエフエム、エフエムとなみ、朝ラジオたかおか及び新川コミュニティ放送と災害時のラジオ放送に関する協定を締結しています。

平成25年6月からはより身近に河川情報入手し、適切な避難行動に役立ててもらうため地上デジタル放送(データ放送)による河川情報の提供を開始しています。



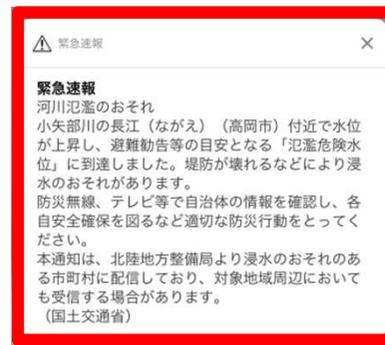
水位情報等の情報提供



ライブカメラによる情報提供



過去配信された緊急速報メール
小矢部川「氾濫のおそれ」(H29.10)



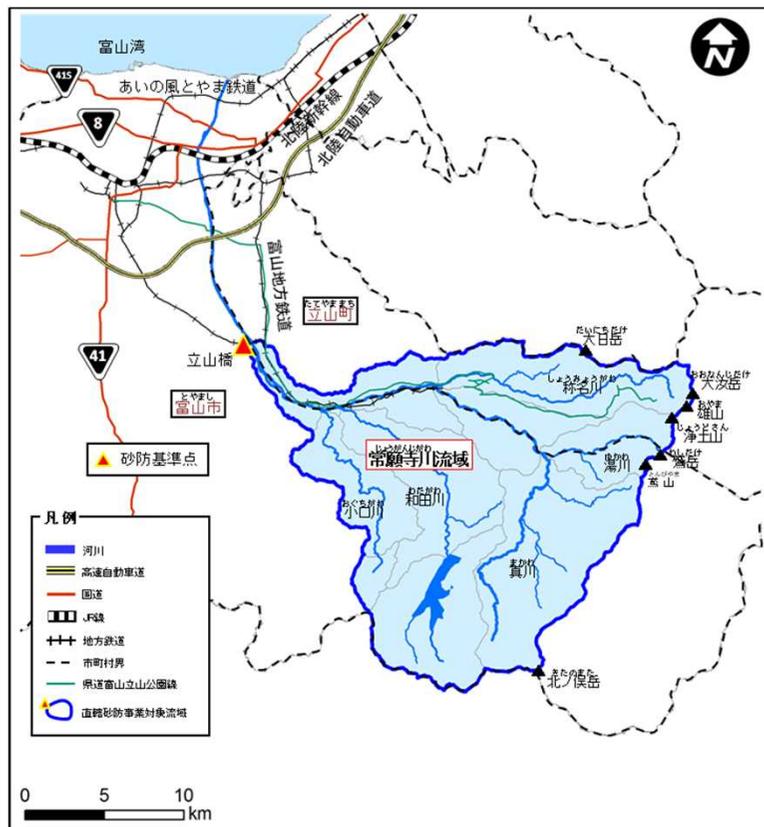
(様式:取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	立山砂防事務所
メニュー名	砂防堰堤等の整備		
事業・施策の名称	直轄砂防事業		
実施場所	直轄砂防区域(常願寺川水系)		

【対策概要】

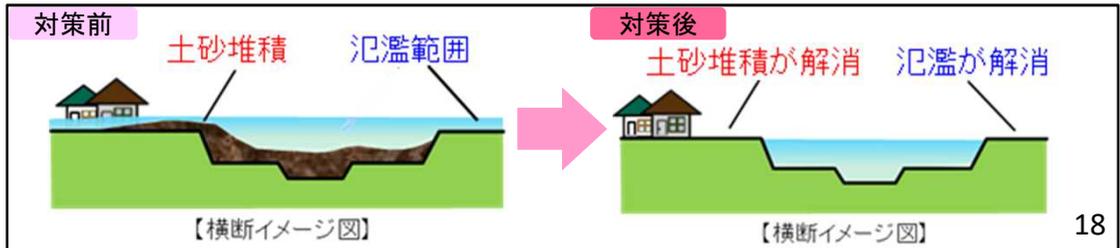
昭和44年災害規模の流出土砂に対して、流域の安全性を向上させるため、扇頂部である立山橋(上滝)付近からの土砂・洪水氾濫を解消し、富山市中心部の被害軽減を図ります。

常願寺川水系直轄砂防流域図



対策による効果(土砂・洪水氾濫の解消)

- ・ 不安定な土砂が大量に堆積している立山カルデラを含む上流域(湯川・真川流域)では、土砂生産抑制ならびに土砂流出抑制を図る整備を推進します。
- ・ 中流域(砂防基準点(上滝)～湯川・真川合流点)では、上流域からの流出土砂の調節並びに、河床・溪岸からの土砂生産の抑制を図ります。



区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県河川課
メニュー名	河川改修(河道拡幅、護岸整備)		
事業・施策の名称	河川改修(河道拡幅、護岸整備)		
実施場所	神通川支川宮島川および坪野川		

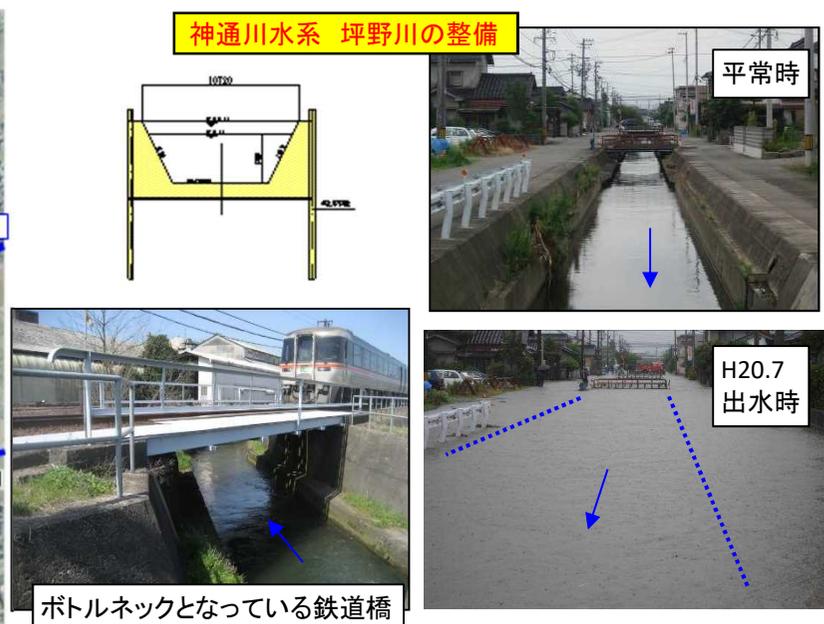
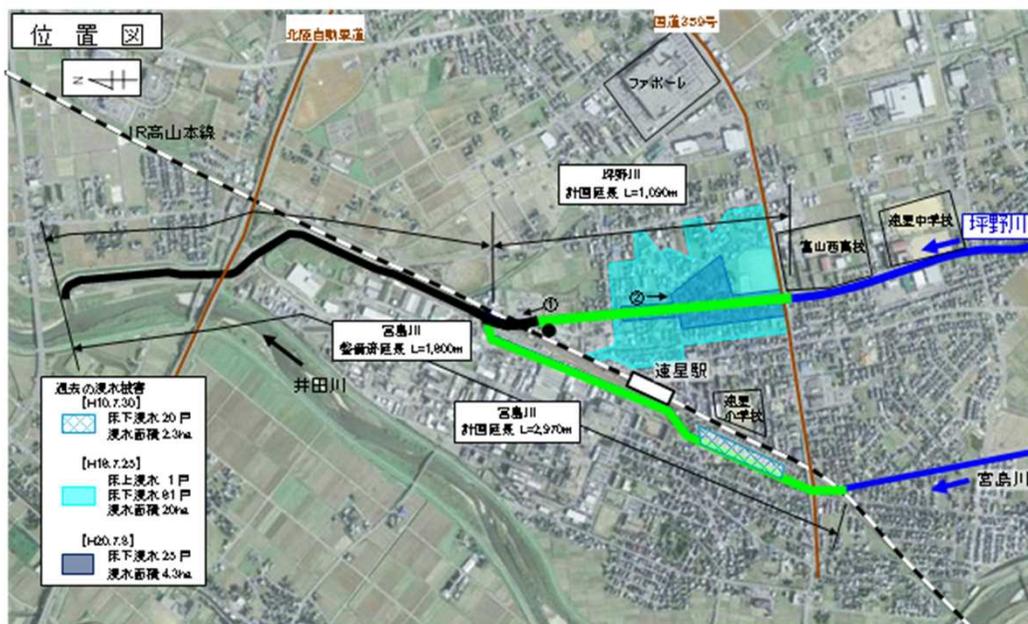
【対策概要】

宮島川および坪野川は、川幅が狭く、富山市婦中町のJR速星駅周辺において、近年、局地的な集中豪雨等により、浸水被害が発生しているため、平成5年度から川幅の拡幅や護岸整備、鉄道橋梁の架け替え等により浸水被害の軽減を図っている。

【事業内容】

事業期間 : 平成5年度～

内 容 : 計画延長4,060m (護岸工、橋梁架替工)



区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県河川課
メニュー名	河川改修(河道拡幅、護岸整備)		
事業・施策の名称	河川改修(河道拡幅、護岸整備)		
実施場所	小矢部川支川横江宮川		

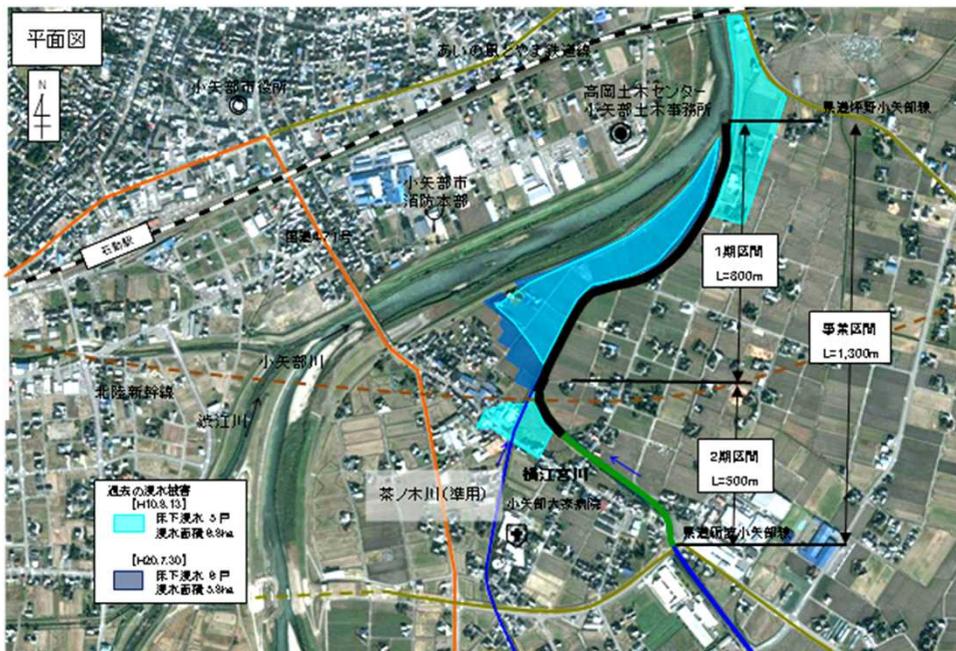
【対策概要】

横江宮川は、川幅が狭く、小矢部川の背水の影響も受けることから、平成10年、平成20年に浸水被害が発生しているため、平成24年度から、川幅の拡幅、堤防の整備、橋梁の架け替え等により浸水被害の軽減を図っている。

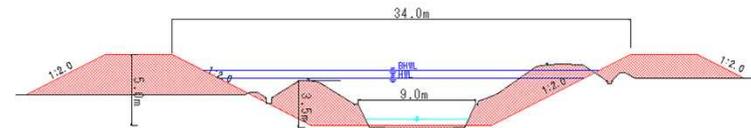
【事業内容】

事業期間 : 平成24年度～

内 容 : 計画延長1,300m (護岸工、橋梁架替工)



小矢部川水系 横江宮川の整備



H20.7月豪雨

平常時



区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県河川課
メニュー名	要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援		
事業・施策の名称	要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進		
実施場所	(対象:市町村地域防災計画で指定された要配慮者利用施設)		

高齢者福祉施設等の要配慮者利用施設における水害時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、市町村が開催する施設管理者向け講習会への講師派遣等により、避難確保計画の作成や避難訓練の実施を支援するもの。

【取組実績】

- ・ 令和元年度：南砺市、入善町、黒部市にて講習会
- ・ 令和2年度：魚津市にて講習会
- ・ 令和3年度：富山市にて講習会
- ・ 県内の要配慮者利用施設1553施設中875施設（56.3%）で計画を作成済み（R3.09.30時点）



講習会の様子 R3 富山市

課水 様式2

4 防災体制

【防災体制】

施設管理者の組織図	備考	避難所	2次所(仮)
	避難所(仮)		
	避難所(仮)		
	避難所(仮)		

5 避難経路

(1) 避難経路、避難経路及び出口

施設名(仮)	避難所(仮)	避難所(仮)	避難所(仮)	避難所(仮)

(2) 避難所(仮)の確保

施設名(仮)	避難所(仮)	避難所(仮)	避難所(仮)

課水 記載例

4 防災体制

【防災体制】

施設管理者の組織図	備考	避難所	2次所(仮)
	避難所(仮)		
	避難所(仮)		
	避難所(仮)		

5 避難経路

(1) 避難経路、避難経路及び出口

施設名(仮)	避難所(仮)	避難所(仮)	避難所(仮)	避難所(仮)

(2) 避難所(仮)の確保

施設名(仮)	避難所(仮)	避難所(仮)	避難所(仮)

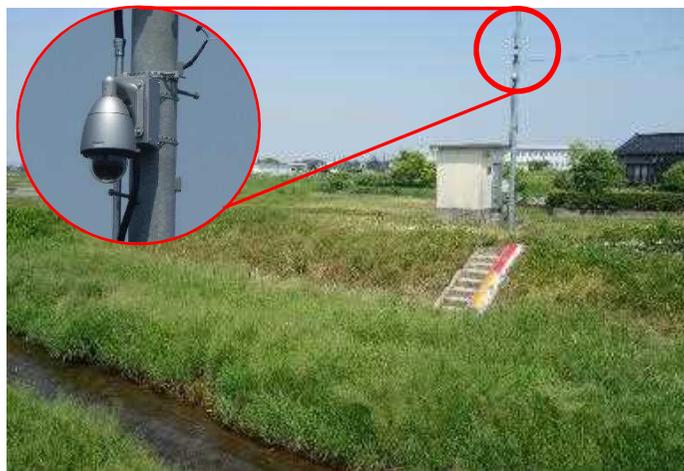
簡易な計画ひな型 (国交省)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県河川課
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	河川状況等ライブカメラ情報		
実施場所	県管理の水位周知河川の水位観測所等		

洪水時における住民の自主避難や市町村長の避難勧告等の判断を支援するため、県管理の水位周知河川の水位観測所等71箇所（R4.1月末時点）において、河川監視カメラを設置し、カメラ画像をインターネットを通じて一般公開するもの。

【実施概要】

- ・ 公開開始日：平成30年6月～
- ・ 公開の方法：画像情報（静止画：5分更新）と水位情報をホームページで提供
- ・ 公開HP：「富山県河川・海岸カメラ」(<http://kawa.pref.toyama.jp/camera>)等



河川監視カメラ設置状況



外部公開サイト(富山県河川・海岸カメラ)



河川監視カメラ画像

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県(土木部砂防課)
メニュー名	砂防関係施設の整備		
事業・施策の名称	砂防関係事業		
実施場所	常願寺川流域、神通川流域、庄川流域、小矢部川流域		

【対策概要】

土砂災害から暮らしを守る砂防関係施設を整備します。

砂防事業



- ・砂防堰堤
- ・床固工
- ・溪流保全工 等

地すべり対策事業



- ・集水井工
- ・横ボーリング工 等



急傾斜地崩壊対策事業

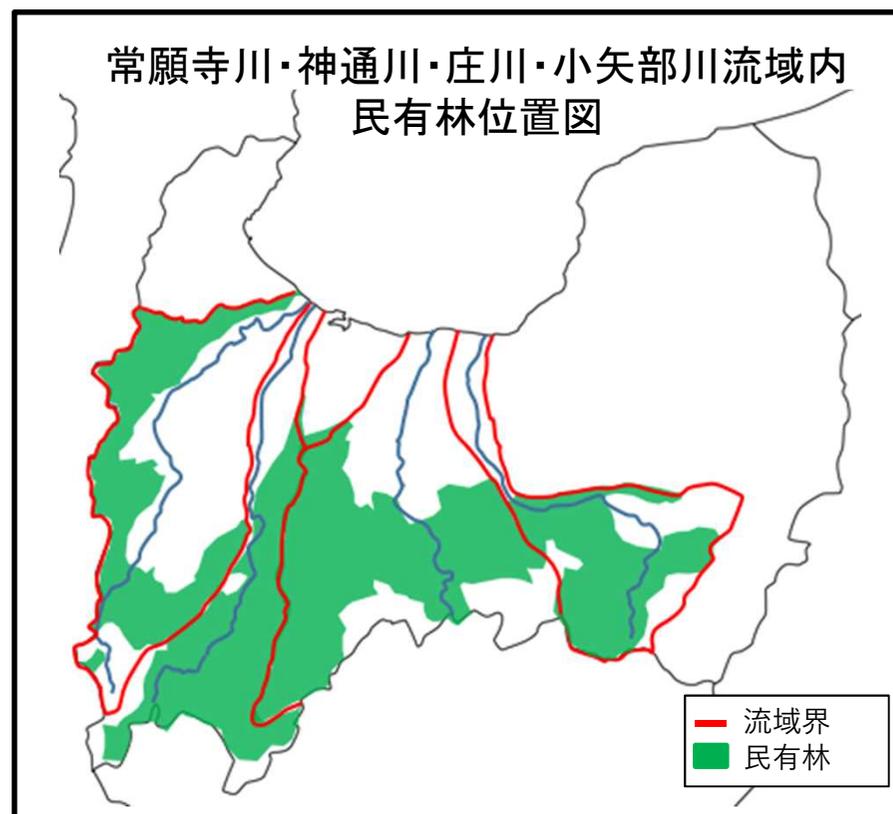


- ・法面工
- ・擁壁工 等

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県森林政策課
メニュー名	森林整備・治山対策		
事業・施策の名称	(民有林内)森林整備事業/治山事業		
実施場所	常願寺川・神通川・庄川・小矢部川流域		

【対策概要】

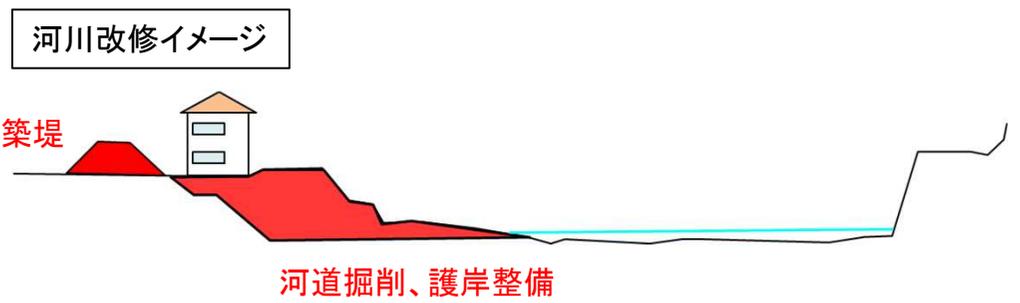
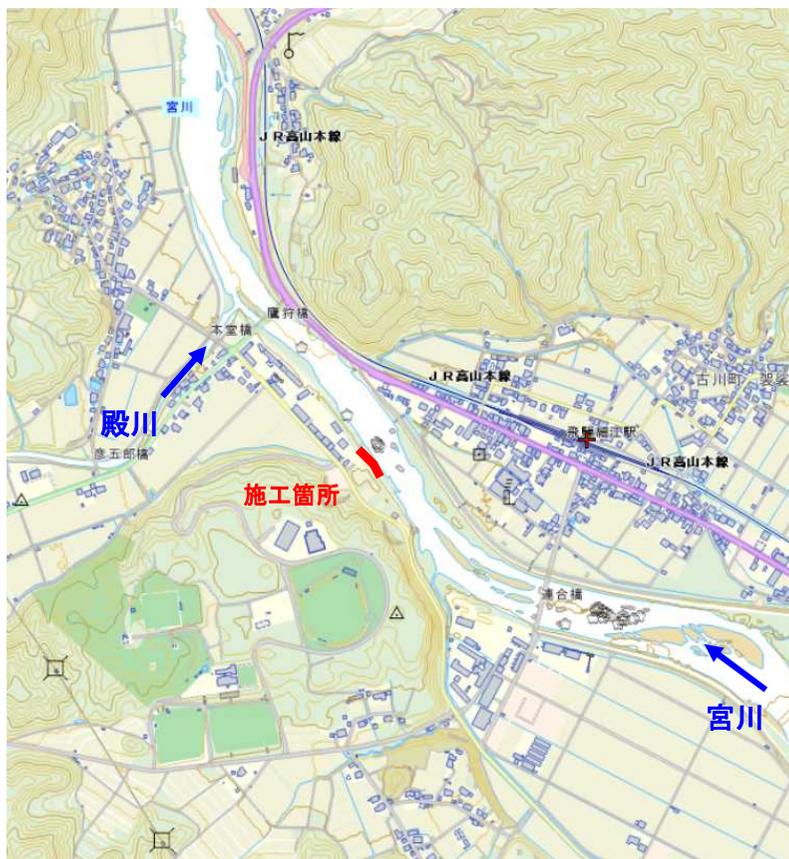
山地災害から住民の生命や財産を守るため、気象等の起因により機能が低下した森林を対象に、森林整備(間伐等)や治山施設の設置を併せて実施することにより、森林機能の高度発揮を図っています。



区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	岐阜県河川課
メニュー名	河道掘削、護岸整備、築堤		
事業・施策の名称	河川改修		
実施場所・対象者	神通川水系・宮川		

【対策概要】

目標とする約30年に1度の洪水を安全に流下させるよう、河道掘削、築堤により河道断面を確保すると共に、護岸整備により安全に洪水を流下させるようにします。



区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	岐阜県河川課
メニュー名	水防災教育(出前講座の活用)		
事業・施策の名称	防災教育(出前講座)		
実施場所・対象者	神通川水系・荒城川(丹生川ダム)、古川小学校5年生65名		

【対策概要】

近年、頻発する洪水被害の状況や被害を防ぐための洪水対策を学ぶとともに、学校の横を流れる荒城川に建設された丹生川ダムを現地学習することで、ダムの役割や身近にある洪水対策を実感してもらう。

学校内での学習状況



現地(丹生川ダム)での学習状況



区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	岐阜県砂防課
メニュー名	砂防関係施設の整備		
事業・施策の名称	砂防関係事業		
実施場所	神通川流域・庄川流域		

【対策概要】

今後、気候変動がより一層激化する見込みであることを踏まえ、流域での土砂流出の抑制及び土砂災害対策のため、砂防関係施設の整備を実施します。

【砂防事業イメージ】



砂防えん堤の整備

溪流内における不安定土砂の流出により土石流発生のおそれがある箇所に砂防えん堤を整備し、流域での土砂流出を抑制する。

【急傾斜地崩壊対策事業イメージ】



擁壁の整備

がけ崩れの恐れがある急傾斜地に擁壁工や法面工などの急傾斜地崩壊防止施設を整備し、流域での土砂災害対策を実施する。

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	岐阜県森林整備課、 治山課
メニュー名	治山対策、森林整備		
事業・施策の名称	補助治山事業、森林整備		
実施場所	民有林		

【対策概要】

今後気候変動がより一層激化する見込みであることを踏まえ、森林の有する土砂流出防止や水源涵養機能等の適切な発揮に向け、荒廃山地の復旧、予防対策として、治山ダムの整備、崩壊した森林の復旧及び森林の整備を実施しました。

【治山事業】



治山ダムの整備



治山ダムの整備

荒廃溪流の復旧、および溪流内不安定土砂の流出抑制のため治山ダムを整備

【森林整備】



間伐の実施



間伐の実施



間伐後の森林

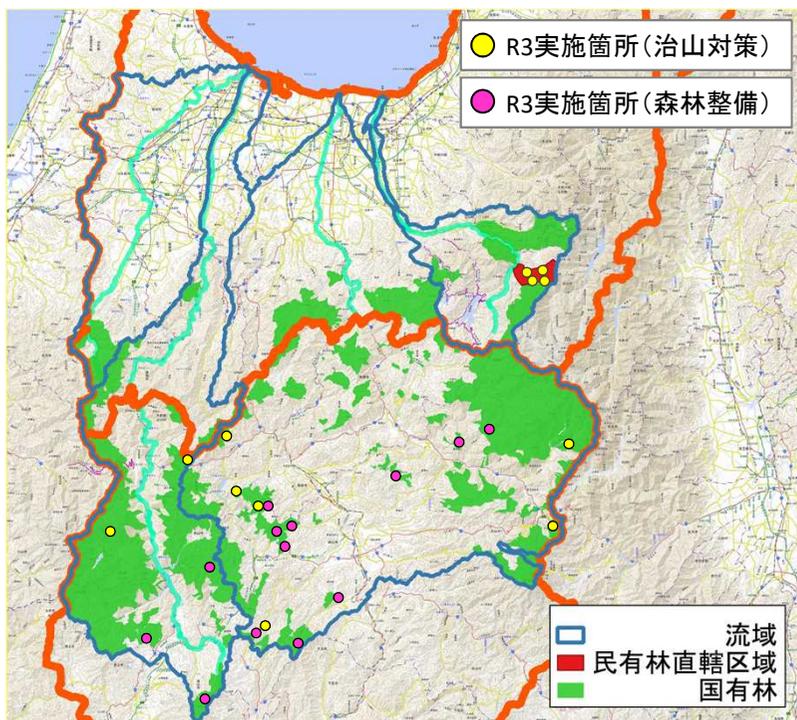
間伐を実施し、適正な森林に整備することにより、土砂流出の抑制、森林土壌による降雨時のピーク流出量を減少

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山森林管理署 飛騨森林管理署
メニュー名	森林整備・治山対策		
事業・施策の名称	国有林野事業(森林整備・治山対策)、民有林直轄治山事業		
実施場所	常願寺川流域・神通川流域・庄川流域・小矢部川流域の国有林等		

【対策概要】

森林の有する水源涵養機能や土砂流出・崩壊防止機能の向上を図り、流域治水対策を推進します。
このため、間伐等の森林整備を適時適切に実施するとともに、山地災害等により機能が低下した荒廃地・荒廃森林については機動的に治山対策を実施します。

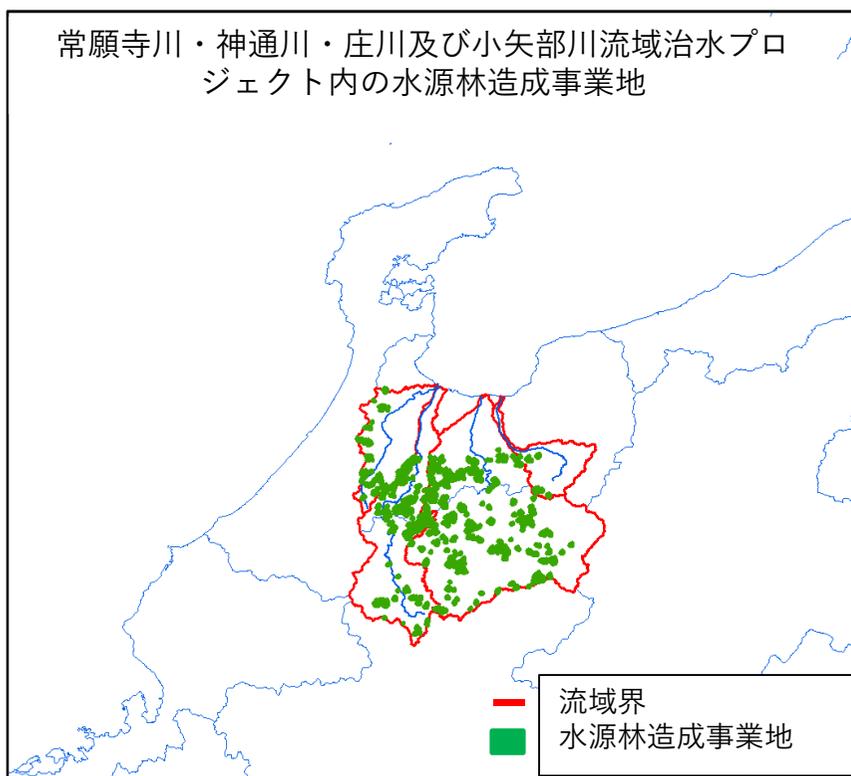
常願寺川・神通川・庄川・小矢部川流域内の国有林 及び民有林直轄治山事業地



区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山・岐阜水源林整備事務所
メニュー名	森林整備		
事業・施策の名称	除間伐等		
実施場所	小矢部川・庄川・神通川・常願寺川(下記位置図)		

【対策概要】

- ・ 除間伐等の森林整備を実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・ 水源林造成事業地は、小矢部川流域に約90箇所（森林面積 約1900ha）、庄川流域に約80箇所（森林面積 約3千ha）、神通川流域に約280箇所（森林面積 約9千ha）、常願寺川流域に8箇所（森林面積 約280ha）があり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施します。



水源林の整備



針交混交林



育成複層林

森林整備実施イメージ



間伐実施前



間伐実施後

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山・岐阜水源林整備事務所
メニュー名	森林整備		
事業・施策の名称	除間伐等		
実施場所・対象者	小矢部川・庄川・神通川・常願寺川流域		

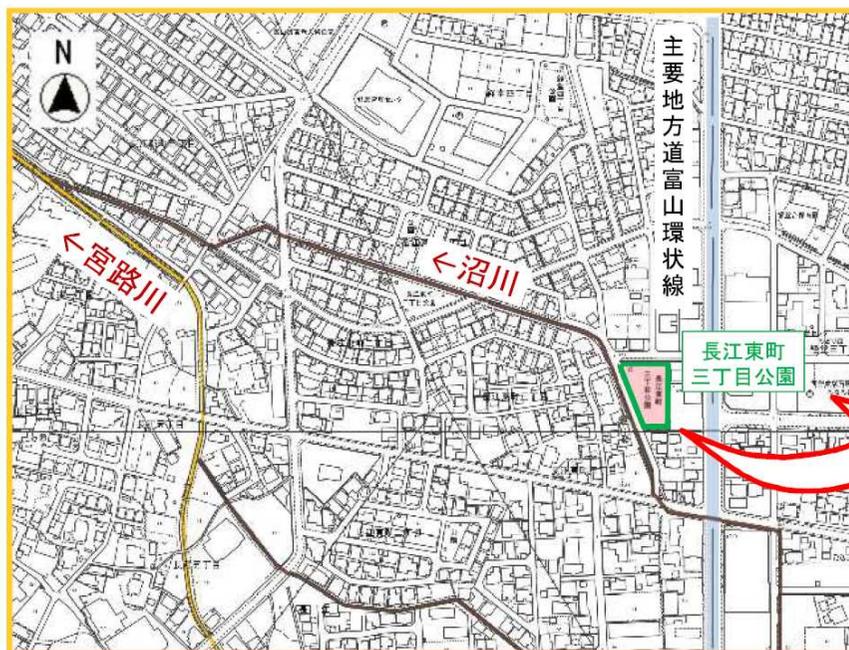
【対策概要】

- ・小矢部川流域：除間伐を約170ha実施
- ・庄川流域：除間伐を約100ha、新植を約18ha実施
- ・神通川流域：除間伐を約330ha、新植を約10ha実施
- ・常願寺川流域：除間伐を約4ha実施

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山市
メニュー名	雨水貯留施設の整備		
事業・施策の名称	雨水貯留施設の整備		
実施場所	神通川支川いたち川支川赤江支川宮路川支川沼川 (富山市長江東町三丁目地内)		

【対策概要】

雨水貯留施設の整備(市街地における浸水対策)



区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山市
メニュー名	水田貯留施設		
事業・施策の名称	住民による流出抑制対策(水田貯留)への支援		
実施場所	婦中地域(井田川支川祖母川、田島川、坪野川、宮島川、磯川、合場川の各流域)		

【対策概要】

住民による流出抑制対策(水田貯留)への支援



流出抑制用の
吐口の堰板



堰板設置状況

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山市
メニュー名	水防災教育(出前講座の活用)		
事業・施策の名称	出前講座等の活用		
実施場所	富山市内の各地区センター等		

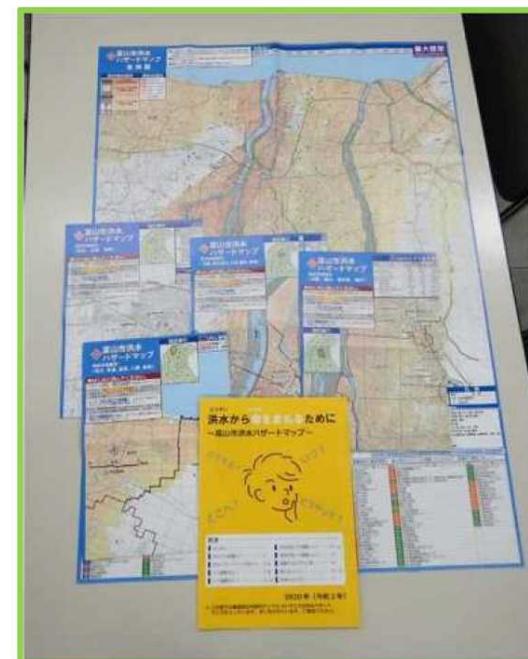
【対策概要】

令和2年6月に作成した洪水ハザードマップの周知



地域における
出前講座

親子参加イベントに
併せた出前講座



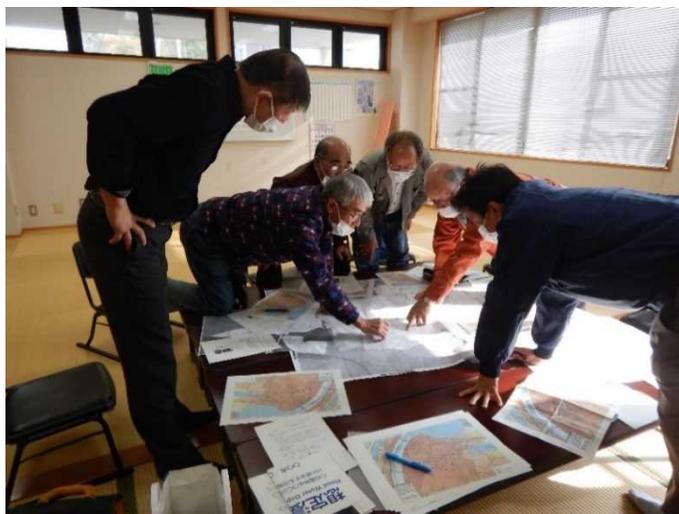
富山市洪水ハザードマップ
(令和2年6月作成)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	高岡市
メニュー名	洪水等リスクの現地表示		
事業・施策の名称	まるごとまちごとハザードマップ整備事業(浸水深標識の電柱等への設置)		
実施場所	庄川		

【対策概要】

日常時から住民の水防災への意識を高めるとともに、発災時には住民の主体的な避難行動を促すため、住民や電柱管理者等と協力し、住民が目にしやすい場所にある電柱や指定緊急避難場所に浸水深の標識を設置した。

住民との意見交換や現地調査



浸水深標識の設置

実際の高さ



人の目線

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	立山町
メニュー名	洪水ハザードマップの配布		
事業・施策の名称	ハザードマップの配布		
実施場所・対象者	町内全域		

【対策概要】

地域防災計画の見直しに伴い、洪水ハザードマップを修正し、令和4年1月末に町広報にて全戸配布を予定している。

また、市内の学校や公民館、要配慮者施設等への配布も今後行っていく。

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	砺波市
メニュー名	マイ・タイムラインシートの作成及び普及		
事業・施策の名称	マイタイムラインの普及		
実施場所・対象者	市内住民		

【対策概要】

台風や大雨等による被害が予想される場合に、あらかじめ住民一人ひとりがとる避難行動を時系列で記載して有事に備え、平時からの避難行動に関する意識を高めるとともに、早めの避難開始への取組を強化するために令和2年4月に市内の全戸に配布した。

また、市総合防災訓練や行政出前講座等で活用するほか、各地区において実施される防災ワークショップや図上訓練等においても、防災士が講師となり取組を推進している。



令和2年度砺波市総合防災訓練において防災士による作成・普及活動

砺波市ホームページからダウンロード可能

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	砺波市
メニュー名	避難訓練への住民参加促進		
事業・施策の名称	砺波市総合防災訓練		
実施場所・対象者	庄川地域		

【対策概要】

令和2年度 砺波市防災デー／砺波市総合防災訓練において、集中豪雨等による水害において、的確で迅速な避難を行うよう避難行動を確認するとともに、新型コロナウイルス感染症を踏まえ、新たに策定した「砺波市避難所運営マニュアル(新型コロナウイルス感染症対策編)」に基づき、災害発生時における感染症を講じた避難所運営の訓練を行い、住民の安全・安心に寄与することを目的とする。



【対策概要】

デジタル技術等を活用
無線通信を活用した遠隔による現地
確認(各避難所)及び本部運営訓練
(Webテレビ会議)



区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	砺波市
メニュー名	避難訓練への住民参加促進		
事業・施策の名称	砺波市総合防災訓練		
実施場所・対象者	庄川地域		



【対策概要】

新型コロナウイルス感染症対策
 事前受付において健康な人と体調不良者の振分訓練



【対策概要】

新型コロナウイルス感染症対策
 体調不良者対応訓練
 (集会センターの活用)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	砺波市
メニュー名	避難訓練への住民参加促進		
事業・施策の名称	砺波市総合防災訓練		
実施場所・対象者	庄川地域		



【対策概要】

新型コロナウイルス感染症対策

避難所の駐車場に避難した車中避難者対応訓練

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	小矢部市
メニュー名	水防災教室(出前講座の活用)		
事業・施策の名称	水防出前講座		
実施場所・対象者	市内の住民		

【対策概要】

職員を派遣し、ハザードマップの見方や使い方、水害に対する備え、避難行動要支援者の対応等に関する講座を実施している。



部門	番号	メニュー	内 容	時間(分)	担 当 課
産業	29	猛将 木宮義仲	木宮義仲の生涯を紹介します。	60	商工観光課/ 義仲・巴プロジェクト推進班
防災・安全	30	おやべの防災について	市地域防災計画に基づく小矢部市の防災対策など皆さんの疑問を分かりやすく説明します。	30	総務課
防災・安全	31	考えよう！交通安全対策	小矢部市の交通事故の現状、そして富山県の交通事故の現状、交通死亡事故の例などから、総合的に交通安全対策を考えます。	30	生活環境課
スポーツ	32	くらしの中にスポーツを	スポーツに関する現状や体育協会・総合型スポーツクラブなどの生涯スポーツの重要性を分かりやすく説明します。	45	文化スポーツ課

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	白川村
メニュー名	避難訓練への住民参加促進		
事業・施策の名称	総合防災訓練の実施		
実施場所・対象者	村内の住民		

【対策概要】

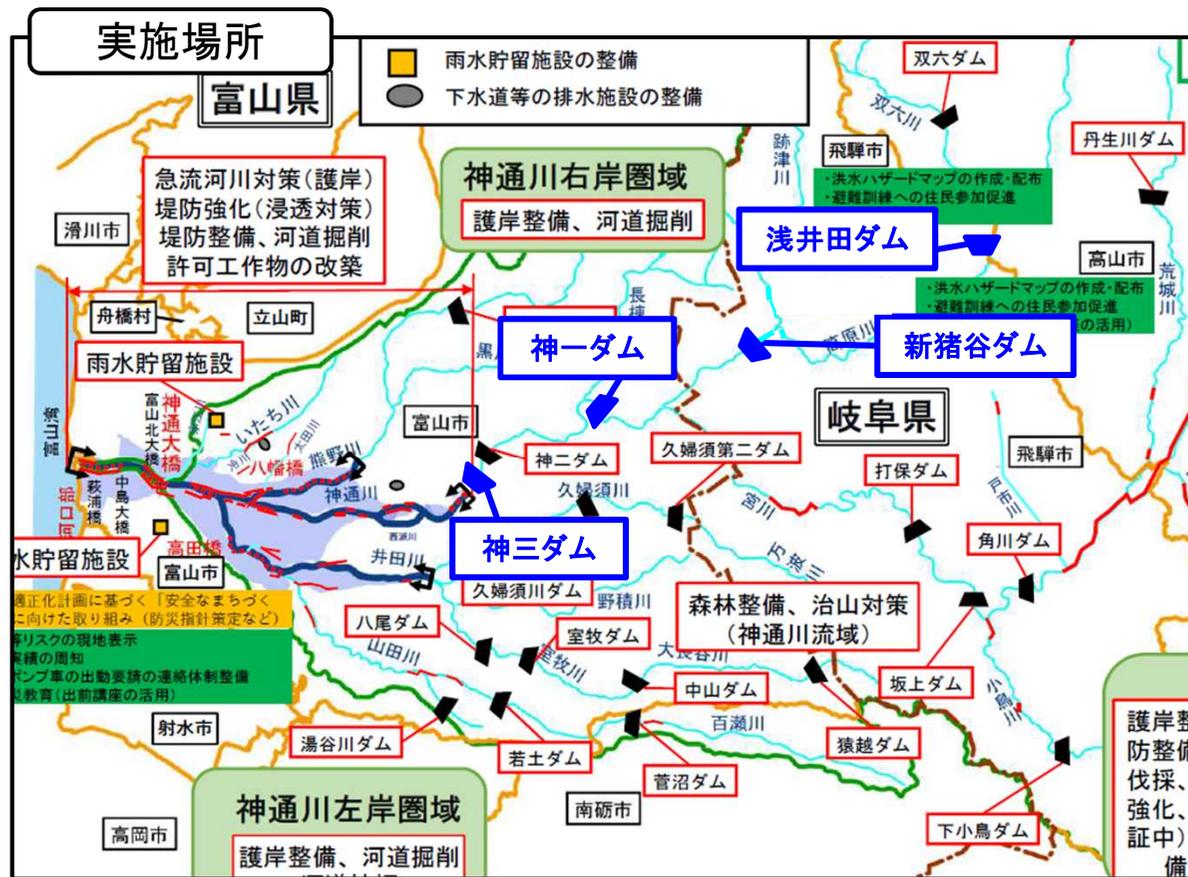
地域住民及び各関係団体と連携し、白川村総合防災訓練を実施した。
大雨による土砂災害を想定し、住民の避難誘導、避難所開設などの訓練を行った。



区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	北陸電力株式会社
メニュー名	既存ダムにおける事前放流等の実施・体制構築		
事業・施策の名称	既存ダムにおける事前放流等の実施・体制構築		
実施場所・対象者	浅井田ダム、新猪谷ダム、神一ダム、神三ダム		

【対策概要】

治水協定に基づき各ダムから事前放流を行い、利水容量から一時的に洪水を調節するための容量を確保し、下流河川の水害の発生防止を図った。



【事前放流実施ダム】
神通川水系 4ダム
【実施期間】
令和3年8月13日

